

## 八甲田山の火山活動解説資料（平成 27 年 10 月）

仙台管区気象台  
火山監視・情報センター

地震活動は低調に推移し、地殻変動に変化はみられず、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 3、図 4）

国土地理院の広域的な GNSS<sup>1)</sup> 連続観測や、南荒川山、駒込深沢の八甲田山を挟む GNSS 連続観測で、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

---

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成27年11月分）は平成27年12月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、弘前大学、東北大学、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。



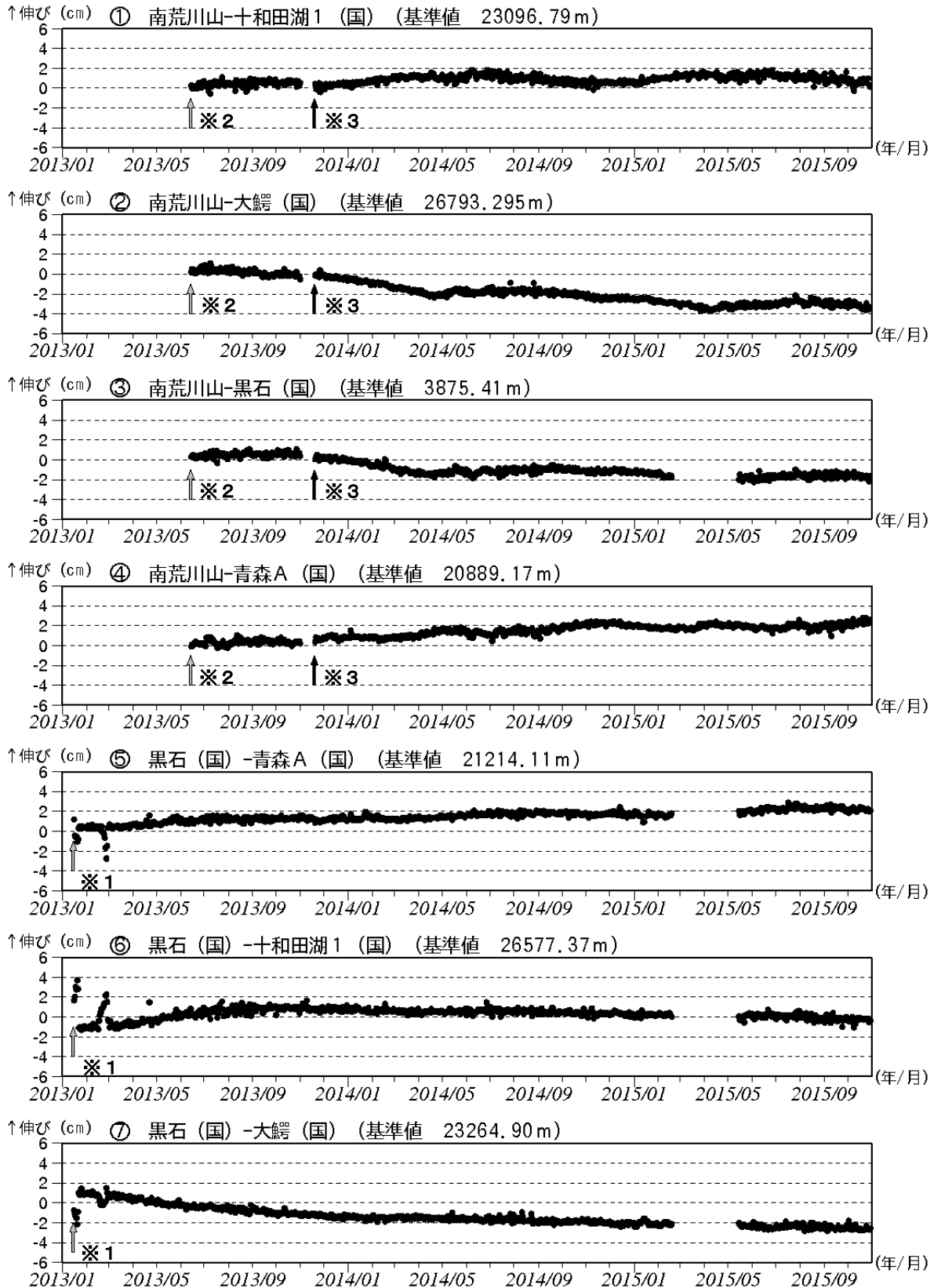


図3-① 八甲田山 GNSS 基線長変化図 (2013年1月～2015年10月)

・①～⑦は図4のGNSS基線①～⑦に対応しています。 ・グラフの空白部分は欠測を表しています。  
 ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。  
 (国)：国土地理院

※1 2013年1月16日より解析を開始しています。

※2、3 南荒川山(臨時観測点)は、2013年6月15日から11月1日まで現地収録型で運用していましたが、機器の移設・更新を行い11月19日からは常時観測で運用しています。図は基準値を補正して接続しています。

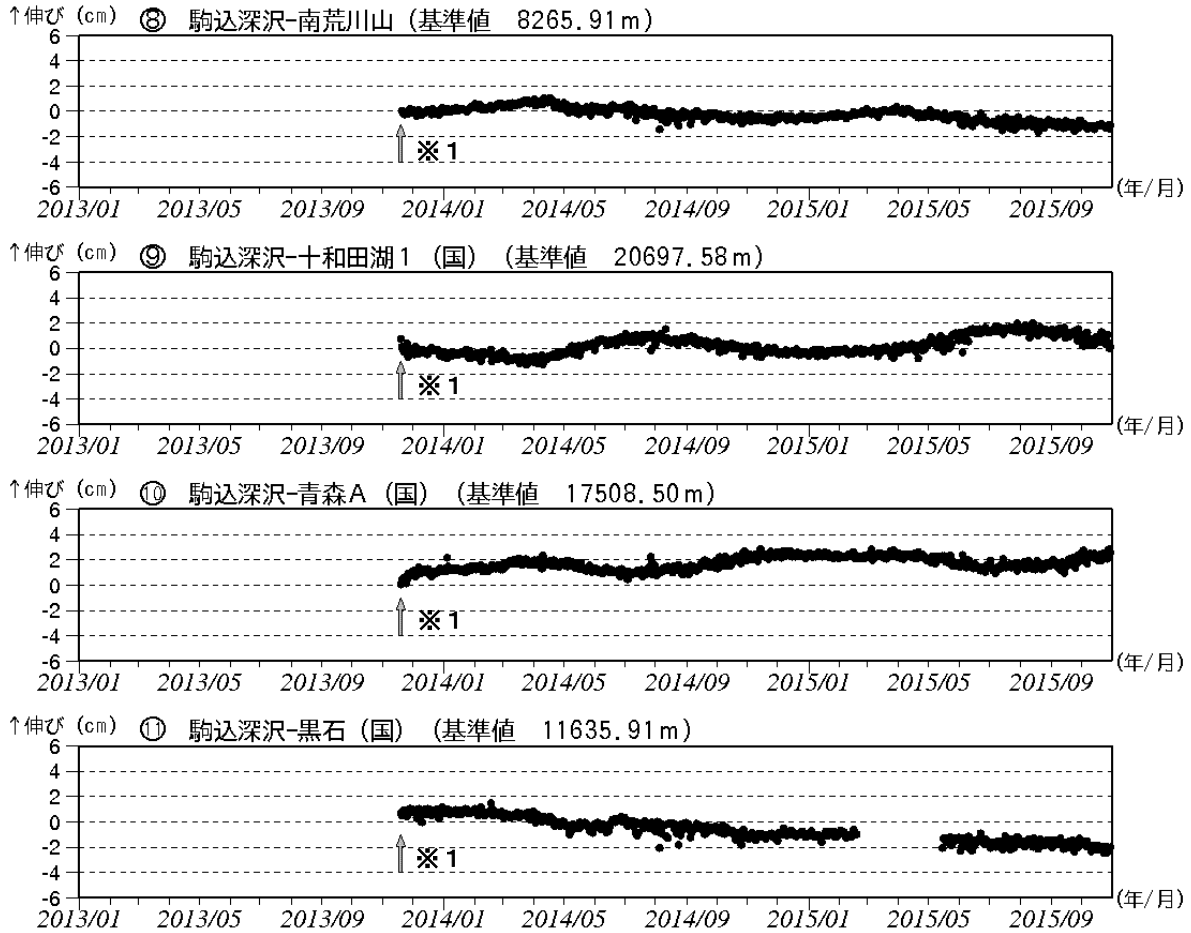


図3-② 八甲田山 GNSS 基線長変化図（2013年1月～2015年10月）

- ・⑧～⑪は図4のGNSS基線⑧～⑪に対応しています。・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- （国）：国土地理院
- ※1 駒込深沢観測点は2013年11月18日から解析を開始しました。

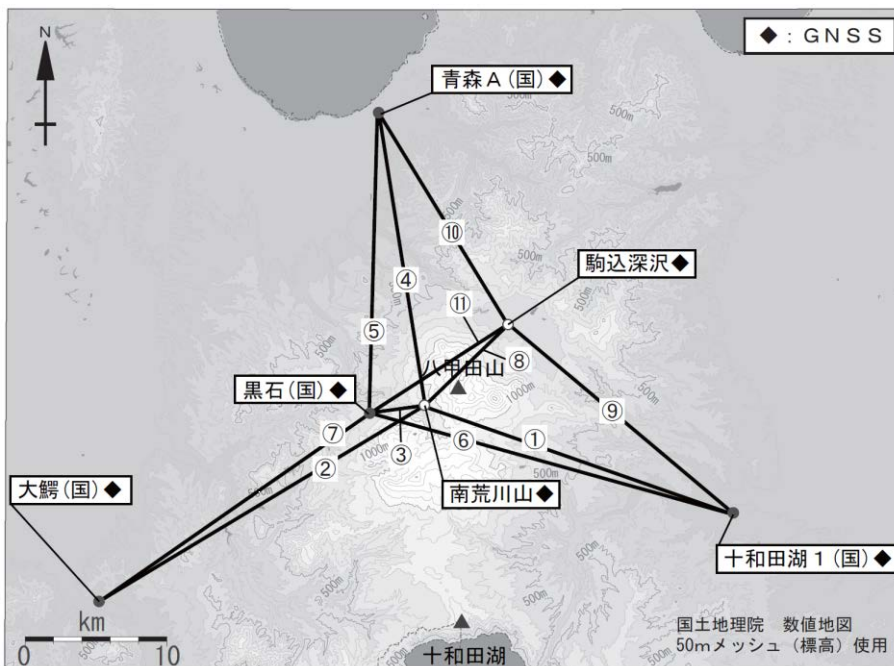


図4 八甲田山 GNSS 観測点配置図

- ・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
- （国）：国土地理院